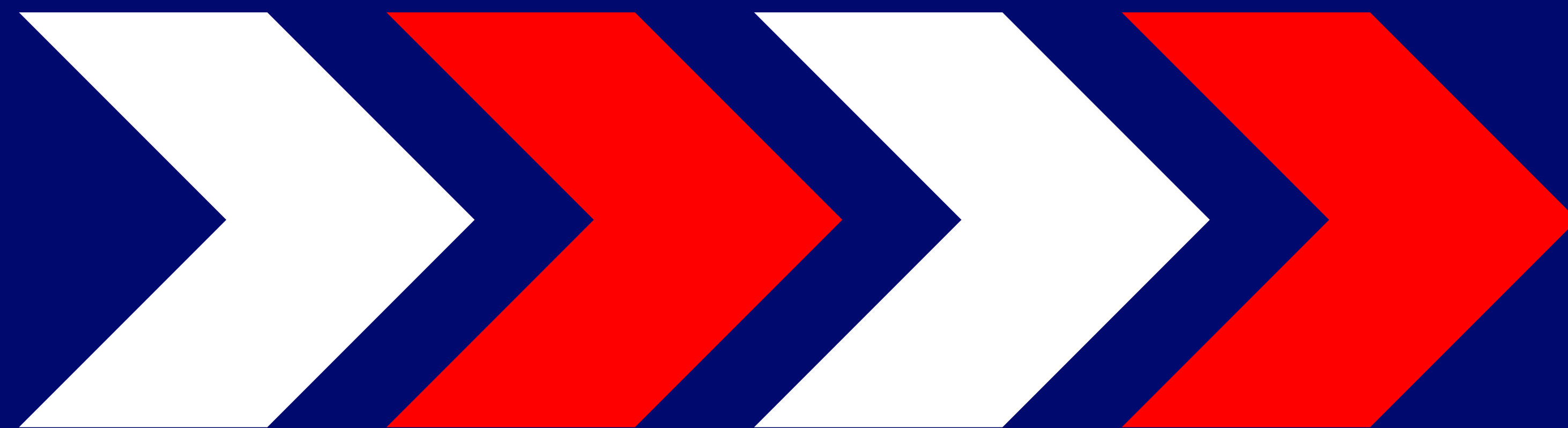




調布基地跡地留保地施設整備 基本計画(素案)に関する オープンハウス

令和7年10月17日・18日



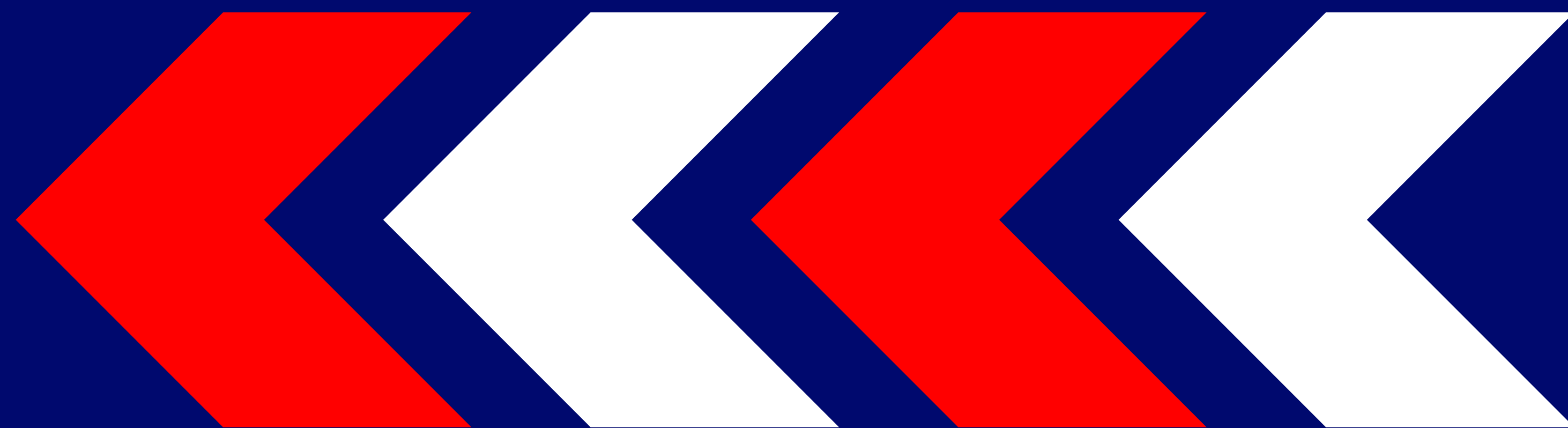
令和7年8月に調布市とF C東京は包括連携協定を締結しました。

調布市



調布基地跡地留保地施設整備 基本計画(素案)に関する オープンハウス

令和7年10月17日・18日



令和7年8月に調布市とF C東京は包括連携協定を締結しました。

調布市

1 調布基地跡地留保地利用計画の概要

【留保地の概要】

■位置

調布市西町

(味の素スタジアムの南東側，調布飛行場の南側)

■面積

約6ヘクタール（6万平方メートル）

■所有者

国（財務省関東財務局立川出張所）

■現況

一般利用には開放されていない
(関係者等以外は立ち入り不可)



国の方針を踏まえ，調布市は市民参加などを経て，
平成20年3月に「調布基地跡地留保地利用計画」を策定

1 調布基地跡地留保地利用計画の概要

【土地利用の方向】

防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園 としての活用

【利用概要（ゾーニング）】

■スポーツ施設

サッカー場，多目的コート，テニスコート

■多目的広場

多目的広場，管理棟，駐車場

■自由広場

既存樹木等を活用した自由広場，駐輪場

■回遊性の創造

遊歩道，園路，エントランス広場

■非常時における土地利用

施設設計を進めていく中で検討

（例：避難者等一時滞留，救援物資の集積拠点など）



2 留保地利用計画策定後のこれまでの主な経過・状況

【調布市基本計画への位置付け】

平成19年度以降の基本計画に留保地活用取組を継続的に位置付け

- ▶ 利用計画の策定、各施設の段階的な整備の検討 など

■地域別計画(西部地域におけるまちづくりの方向)

現行基本計画での位置付け
(令和5年度～令和8年度)

◆調布基地跡地(留保地)の活用に関する取組

調布基地跡地の留保地(国有地)の活用については、既存の利用計画策定以降の周辺地域における施設整備等の状況の変化や民間活力の活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針などを踏まえ、多角的な視点から検討・整理し、国との協議・調整を行います。

【市における様々な財政需要への対応】

- ・ 京王線連続立体交差事業及び連動する中心市街地整備の推進（再開発，区画整理）
- ・ 学校施設の老朽化，不足教室及び空調整備対応
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応 など

「調布基地跡地留保地利用計画」に基づく取組の進捗に遅れ
(「民間活力の活用」の視点も含め、留保地整備の検討を継続)

令和7年6月にF C東京から市と連携した留保地活用について提案あり

2 留保地利用計画策定後のこれまでの主な経過・状況

F C東京からの提案を踏まえ、市は、
「調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」を策定（令和7年8月）

【位置付け】

- ・ F C東京からの提案を踏まえ、留保地の活用による施設整備の実現に向けた**市の考え方**を示すもの
- ・ 施設整備の具体化を図るために、今後のプロセスにおいて策定する
「留保地の活用による施設整備の基本計画」の指針となるもの

【ポイント】

■留保地利用計画に位置付けた枠組みを基本とした取組

- ▶ 市民参加を経て整理した土地利用の方向等を踏襲した対応
- ▶ 「防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園」の整備

■民間活力の活用による効果的・効率的な整備

- ▶ F C東京からの提案を生かした効果的な連携

■市及びF C東京の双方におけるメリットの享受

- ▶ 市の**留保地利用計画で整理した機能の確保**（スポーツ施設や広場、防災機能等の配置）
- ▶ **F C東京の練習拠点となる機能を追加**（練習環境の改善）



3 市民意見聴取の結果概要（オープンハウス・アンケート）

施設整備に関する基本的な考え方を基にオープンハウス及びアンケートを実施

【オープンハウスの実施結果】

- 開催日・場所 ※来場者33人
- ・ 9月5日（金） 富士見地域福祉センター（第3集会室）※天候不良を踏まえ、開催場所を変更
 - ・ 9月6日（土） 富士見地域福祉センター（第1・2集会室）

【アンケートの実施結果】

- 開催時期 9月5日（金）～9月18日（木）
- 回答者数 1396人（市内在住1005人，市内在勤・在学81人，その他310人）
- 回答結果概要 ※アンケート用紙配布，インターネット回答により実施

調布市への関わり	
市内在住	1005
市内在勤・在学	81
その他	310
年齢	
10歳未満	4
10歳代	52
20歳代	106
30歳代	189
40歳代	470
50歳代	366
60歳代	146
70歳代	56
80歳以上	7

整備を望む施設（5つまで）	
広場	627
飲食コーナー	558
サッカー場	522
遊歩道・ランニングコース	507
テニスコート	445
防災備蓄倉庫	431
多目的コート	299
その他	220
フットサルコート	215
噴水	199
バスケットボールコート	152

重要と考える事項（3つまで）	
市民の利用機会確保	732
スポーツ施設の設置	630
防災機能の設置	385
F C 東京との連携強化	380
公園機能（広場空間）の設置	373
市財政負担の軽減	338
市民への説明，情報提供	266
F C 東京の財政負担の軽減	264
国や東京都等との協議・調整	116
近隣施設との一体性	66
その他	34

市とF C 東京の連携による施設整備への期待（3つまで）	
施設全体の魅力的な設え（ランドマーク化）	580
練習の見学	561
F C 東京との連携による市民向け事業の充実	507
選手との触れあい	501
天然芝グラウンドの利用	364
F C 東京による地域貢献活動の充実	310
建物（会議室等）の利用	202
その他	89

4 留保地施設整備基本計画（素案）の策定に向けた主な検討事項

■施設整備に関する基本的な考え方等の再整理

- ・施設整備に関する基本的な考え方（市民利用，公園施設整備，防災機能確保）
- ・施設配置の考え方（配置する機能や位置，運用想定等＜効果的で効率的な配置＞）
- ・費用負担の考え方（市が用地取得を負担する意義，市財政負担軽減，財源確保，FC東京負担等）
- ・役割分担の考え方（用地取得，FC東京練習拠点機能整備，練習拠点機能以外の整備や運営）

■施設配置の方向整理（配置・運用などの考え方）

- ・広場機能 ▶ 植栽を配しインクルーシブの視点も踏まえ，誰もが利用しやすい多世代が憩える場を整備
西町公園との連続性を確保し，効果的で機能的な配置
- ・運動・スポーツ機能 ▶ 市民ニーズや利用頻度の見込み等を踏まえて，必要な施設を配置
効率的かつ柔軟な運用，各種スポーツ・イベントなど多様な用途での利用
- ・練習場機能 ▶ FC東京の練習拠点として，FC東京からの提案を踏まえた配置・運用の検討
- ・防災機能 ▶ 調布市地域防災計画に基づく防災機能の核となる防災備蓄倉庫の配置
大規模災害時の救援物資の集積や，近隣住民等の一時避難を想定した各エリアの有効活用
- ・環境・安全配慮 ▶ 交通渋滞・騒音などによる周辺への影響抑制，利用者等の利便性や安全性の確保

留保地施設整備基本計画（素案）の中で，具体的な施設配置案をとりまとめ

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は、現在継続中であり、取得の時期等は現時点では未定です。

【施設整備に関する基本的な考え方】

■利用計画を基本とした取組の推進

- ▶ 防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園
- ▶ 留保地利用計画の枠組みを基本，ニーズ等を踏まえ可能な対応を検討

■都市計画マスタープランや公共施設マネジメントの基本方針を踏まえた整備

- ▶ 民間活力（F C東京等）の活用による効果的・効率的な施設整備・運営

■市民利用に留意した取組の推進

- ▶ 多角的な視点からの市民の利用機会確保
- ▶ 利便性・安全性を考慮した施設配置

■都市公園の多面的な機能の推進

- ▶ インクルーシブの視点で利用者が快適に過ごし憩える施設（市民における愛着，憩い）

■スポーツ資源を活用したにぎわいの創出・交流の促進

- ▶ スポーツを「する」「みる」「ささえる」の視点
- ▶ スポーツを楽しめる環境の充実・にぎわいの創出

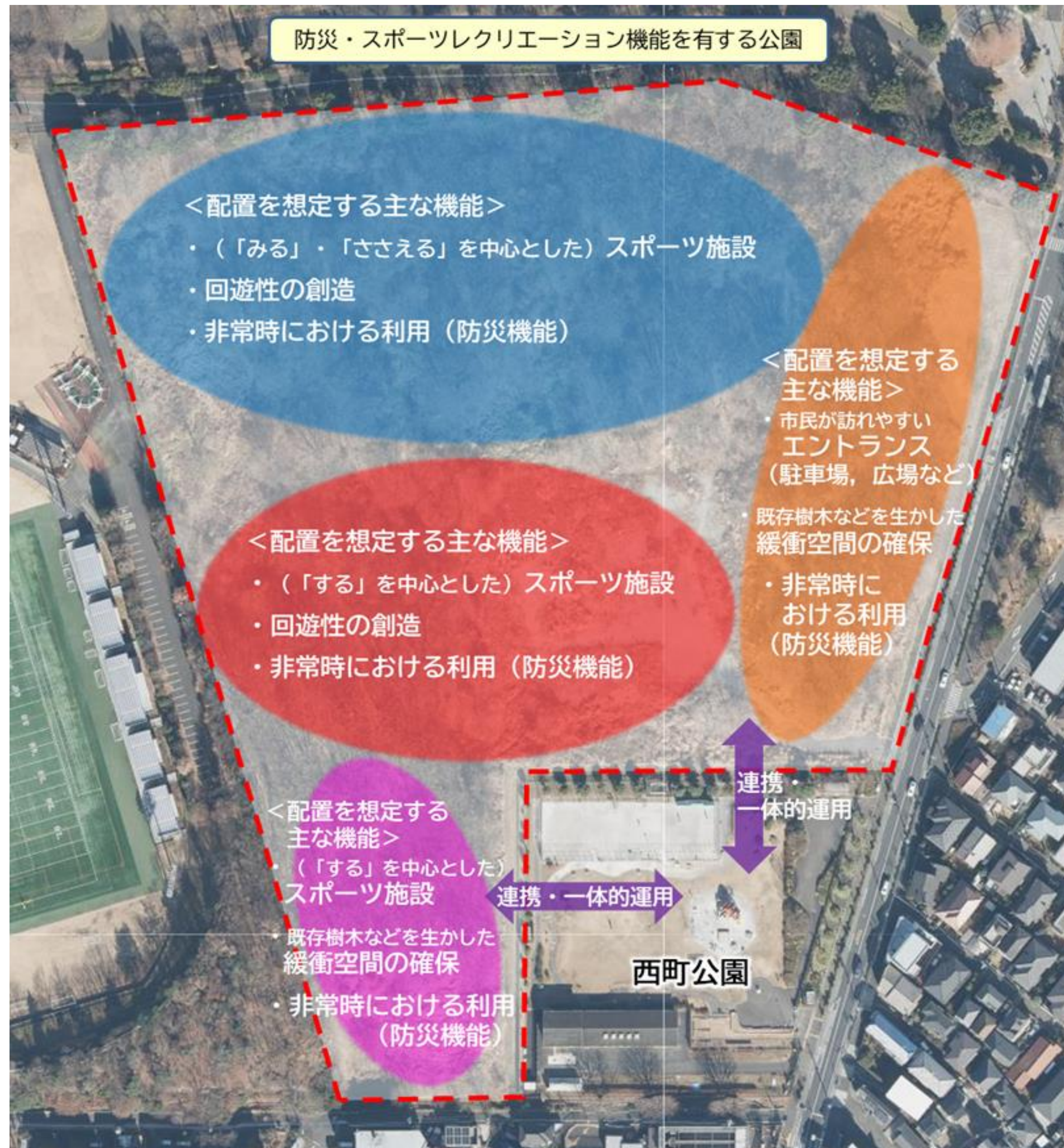
■地域防災計画を踏まえた防災機能の確保

- ▶ 調布市地域防災計画における位置付けたを踏まえた諸機能の確保
- ▶ 大規模災害時における防災拠点としての有効活用

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【施設ゾーニング】



【施設配置(通常利用時)】



※「防災備蓄倉庫」については、物資の搬出入動線の検討と併せて、配置位置を定める必要があることから、現時点では暫定的な位置として示しています。

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【施設配置の考え方】



①自由広場

- ・西町公園との連続性・一体性を確保し、施設全体のエントランス空間として整備
- ・誰もが利用できる広場として整備し、地域のにぎわいと親しみを創出
- ・既存植栽を活かし自然景観や開放感のある空間を形成し施設の「顔」とする
- ・緑の持つ暑熱対策（木陰）、遮音、CO₂削減などのグリーンインフラ機能を活用
- ・インクルーシブの視点を踏まえ、誰もが利用できる遊具等を設置
- ・多世代が憩える場を確保し、地域住民や来訪者が交流できる空間づくりを推進

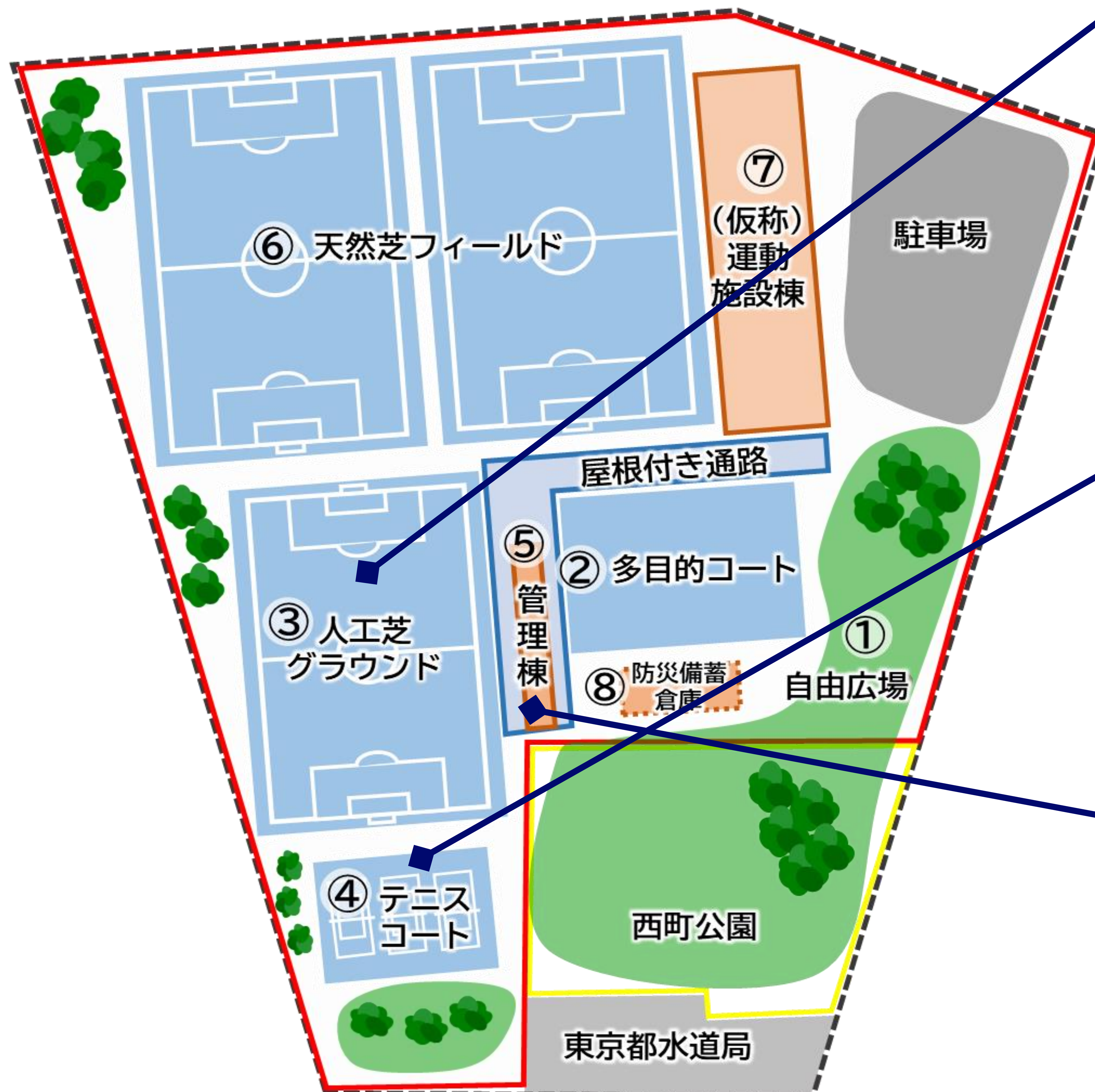
②多目的コート

- ・人工芝による開放的なスペースを整備
- ・多様な利用（各種スポーツ・運動・イベント等）を想定
- ・柔軟な運用により、幅広い市民利用を促進

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【施設配置の考え方】



③人工芝グラウンド

- ・一般的なサッカー場の広さ
- ・周辺環境への影響も踏まえた配置
- ・人工芝の特性を活かし，多様なスポーツ（ラクロス・グラウンドゴルフ等）や，健康増進活動・保育園等での活用を想定
- ・幅広い世代の利用促進，施設の有効活用
- ・F C東京の利用も想定した協議を実施

④テニスコート

- ・ニーズや既存のテニスコートにおける稼働率の高さを踏まえ，複数コートを設置
- ・他機能よりも面積が小さいことを踏まえ，留保地の形状に応じた効率的配置
- ・周辺環境への影響に留意

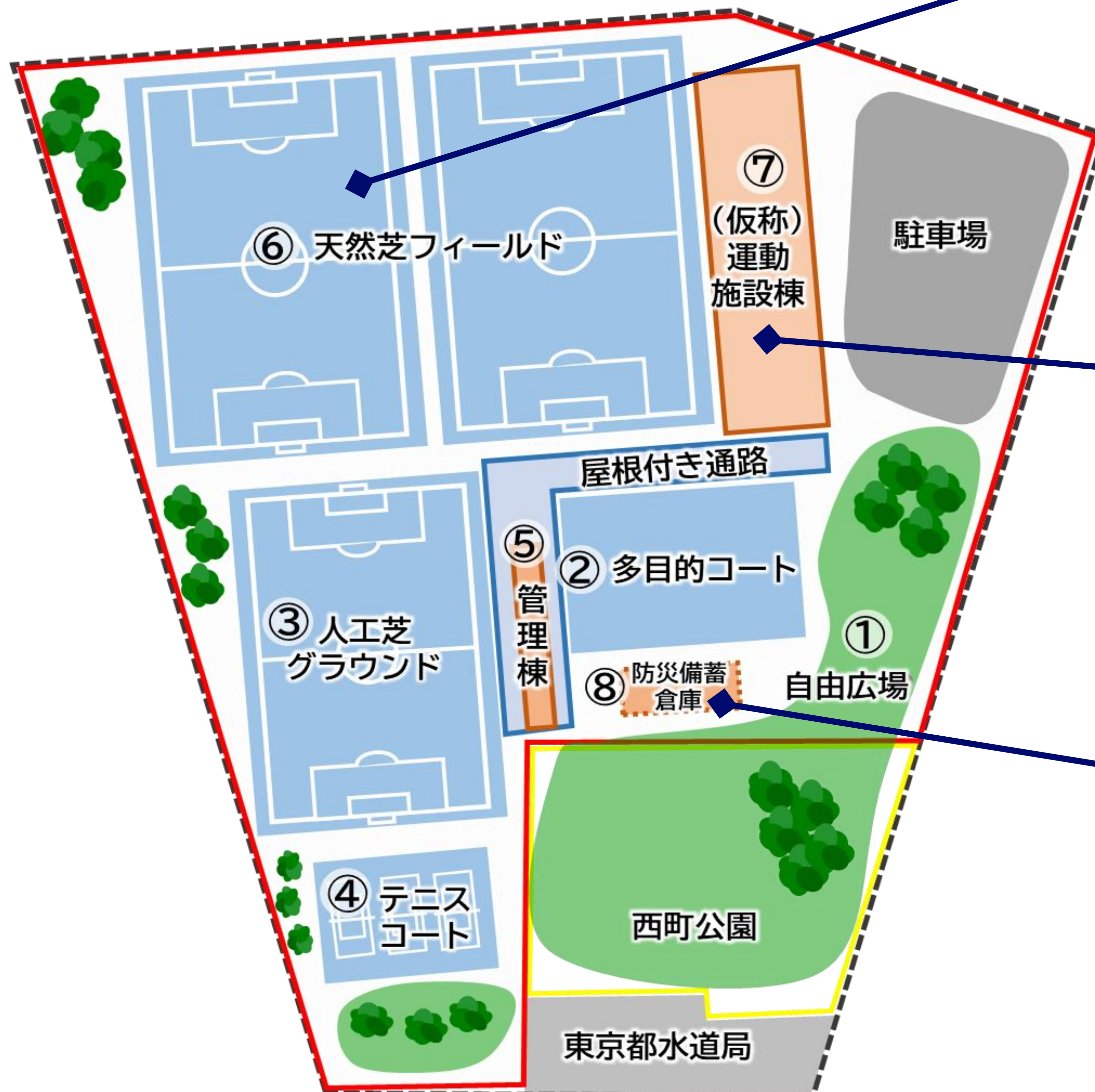
⑤管理棟

- ・管理人及び受付，更衣室，トイレ等を想定
- ・各施設からの動線・距離など利便性に配慮
- ・効率的な施設管理や緊急時の迅速な対応が可能となる位置に配置

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【施設配置の考え方】



⑥ 天然芝フィールド

- ・F C東京の提案に基づき練習拠点としての利用を主とする施設として整備
- ・留保地全体を都市公園として整備する方針を踏まえた計画
- ・「する・みる・ささえる」の視点から、市民がスポーツに親しめる環境づくり

⑦ (仮称) 運動施設棟

- ・練習拠点機能に加え、留保地全体の管理・運営拠点として位置付け
- ・市民の運動機会の提供も想定
- ・休憩・喫茶機能等を検討
- ・利便性向上・交流や憩いの場としての多機能な運用を想定

⑧ 防災備蓄倉庫

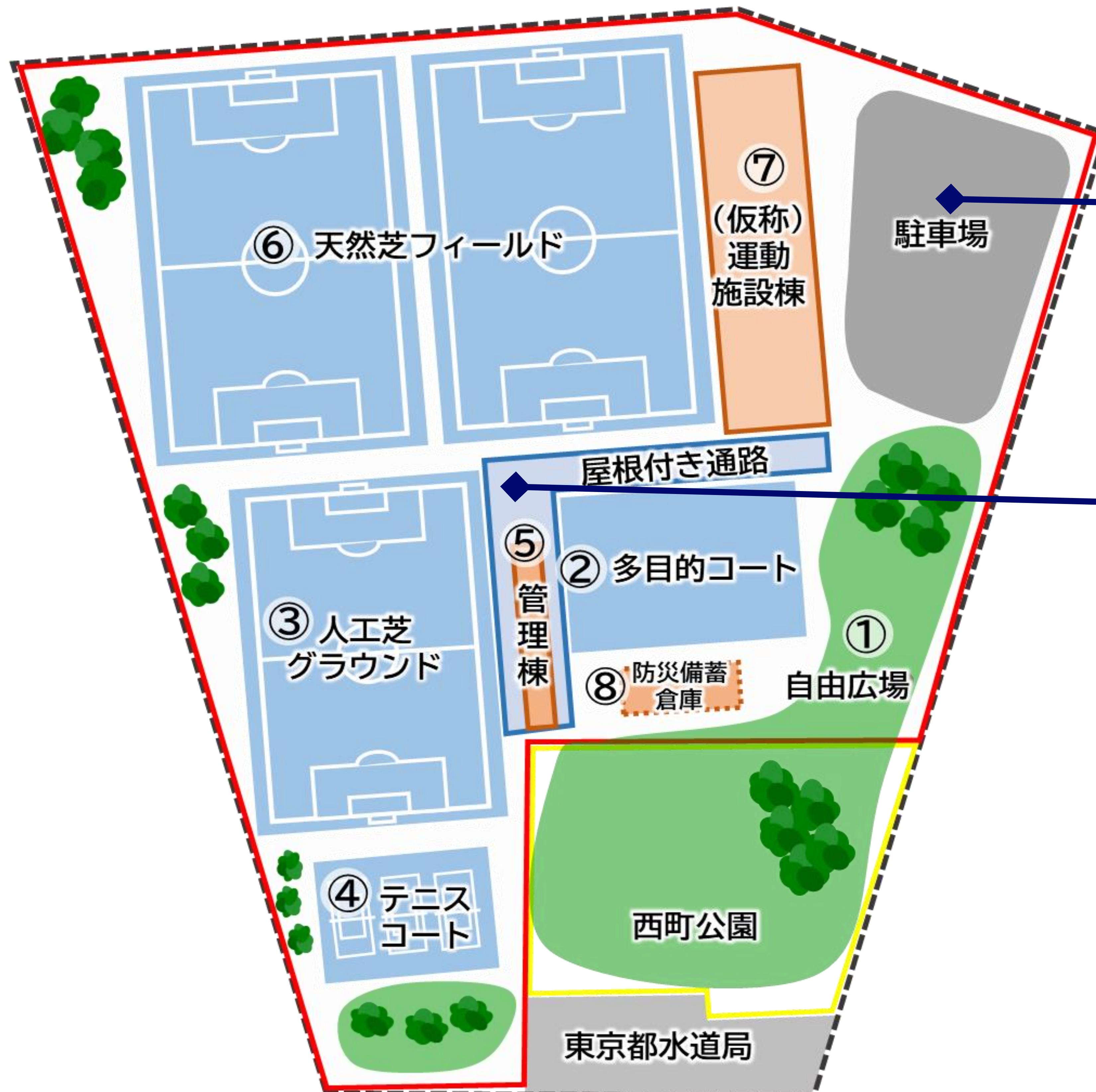
- ・施設配置との調和を図りながら整備
- ・日常時・災害時の搬出入動線を考慮し、効果的な位置に配置

※「防災備蓄倉庫」については、物資の搬出入動線の検討と併せて配置位置を定める必要があることから、現時点では暫定的な位置として示しています。

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【施設配置の考え方】



駐車場，駐輪場ほか

- ・駐車場はF C東京と供用を想定（一部専用スペースあり）
- ・安全な動線確保，交通環境への影響抑制

屋根（暑熱対策等）

- ・暑熱対策（日陰確保）
- ・天候急変時の一時避難場所
- ・施設利用者等の利便性・安全性の確保

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

【災害対応に関する機能配置】



※大規模災害時には、留保地に関する市の地域防災計画上の位置付けを踏まえ、フェーズフリーの観点から、平常時の運用における各エリアの機能等を生かした対応を図り、市民の安全・安心の確保につなげます。

①一時避難・滞在エリア

- ・近隣住民等の一時避難場所
- ・帰宅困難者の一時滞在場所

②物資集積エリア

- ・市内各避難所への物資輸送拠点
- ・応援物資等の大規模備蓄場所
- ・物資搬入・搬出用の輸送車両動線を確認

その他

- ・駐車場の災害時活用を多角的に検討
- ・平常時からの訓練で円滑な対応・運用課題の把握・改善
- ・味の素スタジアム等で東京都が想定している災害時の機能との連携の可能性を検討
- ・広い視点での災害時活用を検討

5 調布基地跡地留保地施設整備基本計画（素案）

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中であり、実際の取得時期等は現時点で未定です。

■事業手法・費用負担の考え方

【事業手法】

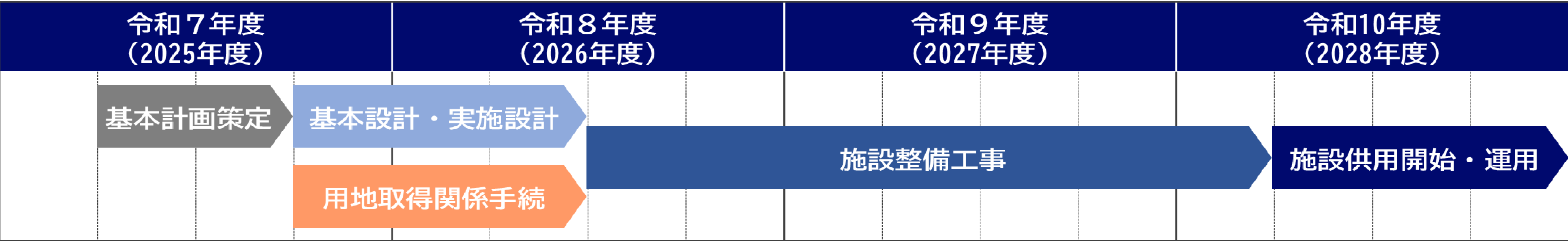
- ・市が主体となり，民間活力を活用しつつ柔軟に運営できる体制を構築
- ・F C東京が有するスポーツ振興や施設運営等の専門性を活かし，F C東京と連携して整備・運営
- ・施設整備は市とF C東京とで役割分担しながら対応
- ・施設の管理・運営は，市が基本的な関与を維持する観点も踏まえ，指定管理者制度を基本に検討

【費用負担】

- ・公園整備として市が土地を取得（敷地全体のうち，国から1／3購入・2／3無償借受）
- ・F C東京が練習拠点となる施設を整備し，練習施設以外の施設整備は市が主体となって整備
- ・各種補助金の最大限の活用，F C東京への応分負担を求めることにより市財政負担を軽減
- ・寄附・クラウドファンディングなどによる財源確保

■想定事業スケジュール

※F C東京からの提案を踏まえた現時点の想定事業スケジュール



6 調布基地跡地留保地施設整備基本計画策定に向けた主なスケジュール（案）

